

長岡地区租税教育推進協議会 会長賞 佳作

誰が払うの？

長岡市立東中学校

三年 町永 柑花

わたしたちの街には、税金で建てられた建物が多い。もちろん、他の事にも使われている。それで、私はあることが気になった。それは、「税金はどこから集められるのか」だ。

テレビである番組を見ている時、「数千万円から、一億円以上の収入である芸能人、スポーツ選手は、収入の半分以上を超え、税金を納税する」と聞いたことがあった。このことしか私は税金について知識がなかった。そこで、私は調べてみた。すると、税金は約50種類あるが、主に10個に分けてみた。消費税・地方消費税・所得税・住民税・法人税・酒税・関税・たばこ税・たばこ特別税・揮発油税・自動車税・自動車重量税だ。私が、知っていた話は、所得税に関するのだと分かった。所得が多くなるほど、税率が高くなるそうだ。

街に税金で建てられている物は、民家、私営企業以外の建てものだそうだ。私達が、通っている学校にも使われていて身近で使っている物の多くが、税金が含まれていることを改めて知った。除雪、ごみの処理にも、税金が使われていることは、初めて知った。いろいろ、調べていくうちに心配になってきたことがあった。それは、消費税が今よりも上がっていくことだ。少子高齢化が進んで

いる日本のために、そして、もつと安心して暮らせるために消費税率を上げたのはいいことだが、家庭によって、苦しくなるところもあると感じた。でも、そのようなことに対する対策は、国会が考えているだろうと思っている。

これらのことから、私達中学生には、何ができるかを考えてみた。今、私達は、消費税などを納めていない。しかし、国民としてできることが一つでもあると思う。例えば、学校の物を大切に扱うとか、ごみを丁寧に分別するなど、小さな事でもできることがあると思つた。もちろん、大人になれば、納める税金が出てくる。税金の種類もたくさんあるため、今からでも知っておきたい。国民の一人として未来を支えていけるような誇らしい人になりたい。そう思い、過ごしていきたい。今、私達が過ごせているのは、税金のおかげでもあると思つた。今、税金を払ってくれている大人に感謝したい。税金がない世界よりも、税金がある世界の方が良いと、この作文を通して伝えたい。納税は、国民の義務であることも、伝えられたらいい。だから、税金は大切なのだ。